

「生涯学習に関する意識調査」の結果

「生涯学習に関する意識調査」の概要

「第4次防府市生涯学習推進計画（学ぼうやプラン4）」の策定を行うにあたり、防府市民の生涯学習に関する意識と活動の現状及び学習ニーズを把握するため、意識調査を実施しました。

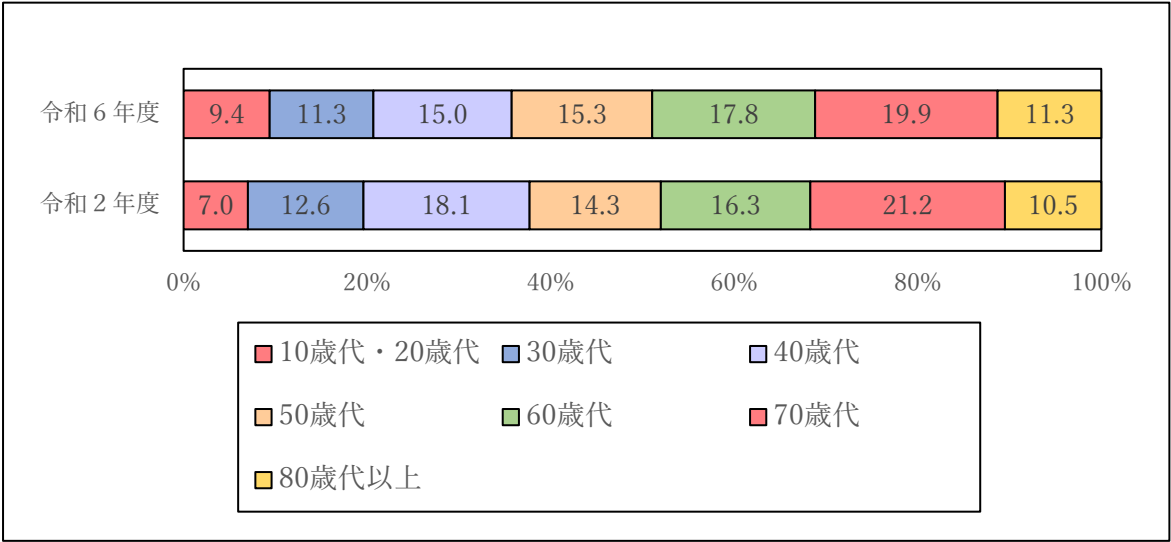
なお、令和2年度の調査結果を踏まえ、令和6年度の調査結果の分析等を行いました。

- 調査対象：市内在住の18歳以上の2,000人を無作為抽出
- 調査期間：令和6年8月26日から9月20日まで
- 有効回答者数：477人（回収率：23.9%）

なお、「n」は当該質問の回答者数を表しており、複数回答が可能な質問については、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

問1 あなたの年齢についてお答えください。

■ 回答者の属性（年代）



<参考>

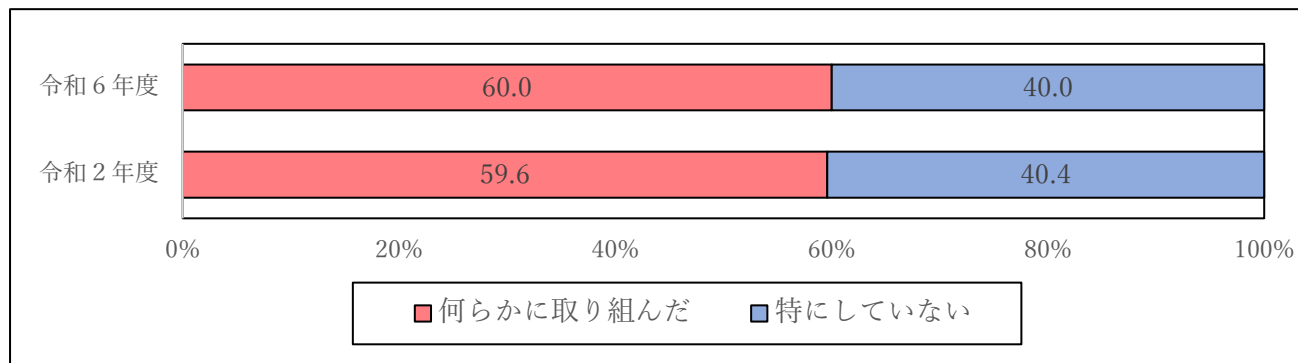
令和2年度実施の「生涯学習に関する意識調査」

- 調査対象：市内在住の20歳以上の2,000人を無作為抽出
- 調査期間：令和2年7月1日から7月31日まで
- 有効回答者数：673人（回収率：33.7%）

（１）生涯学習への取組状況について

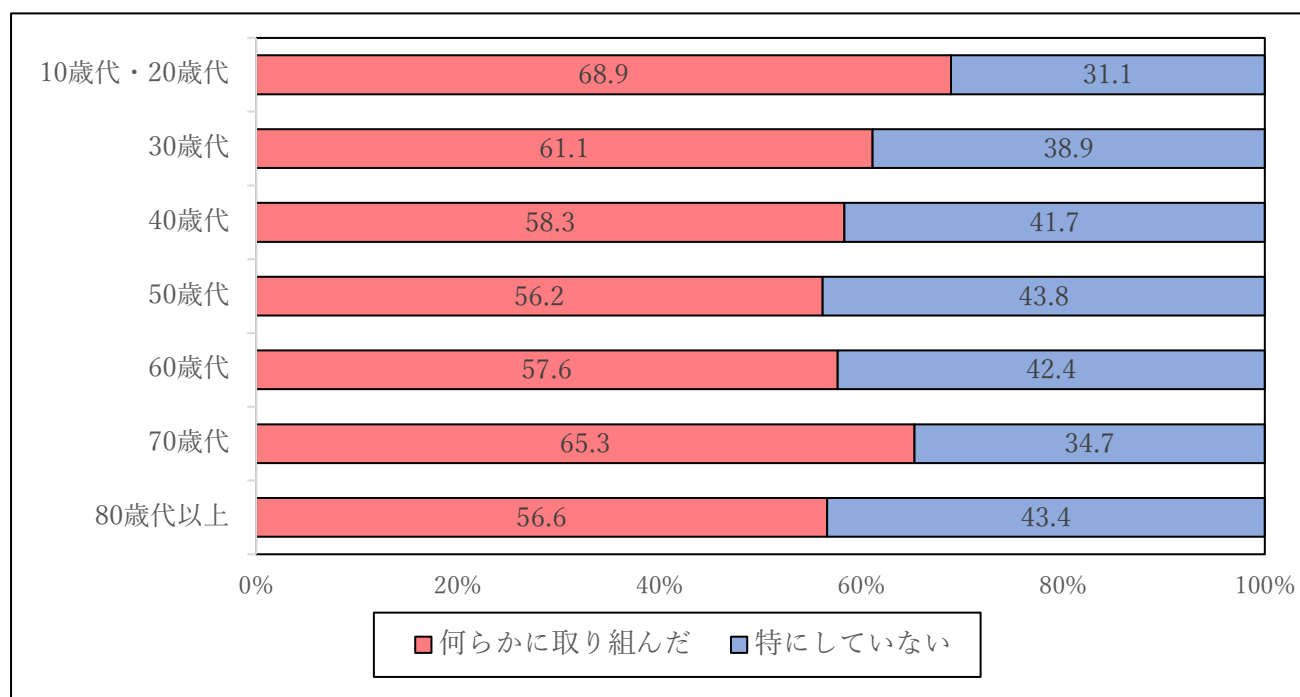
問２ あなたは、この１年間、次の分野に関する学習活動をしたことがありますか。

■ 生涯学習の取組状況について



この１年間の生涯学習について、何らかの生涯学習活動をしたことがあると回答した人は 60.0% で、前回の調査結果とほぼ同じ割合となっています。

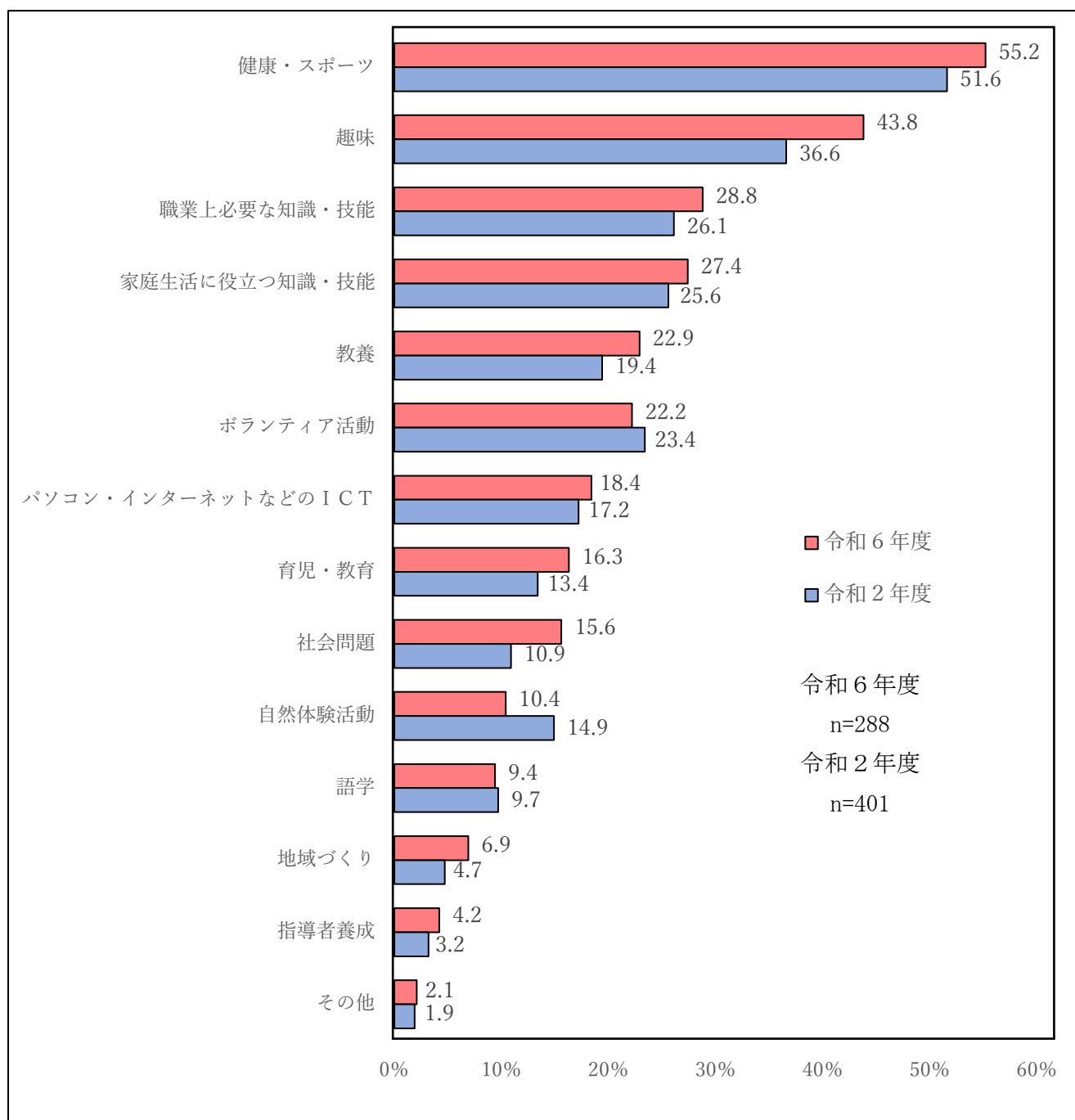
■ 生涯学習の取組状況について（年代別）



年代別の特徴をみると、10歳代・20歳代が68.9%と最も高く、次に70歳代が65.3%となっています。一方、50歳代が56.2%、80歳代以上が56.6%と比較的低くなっています。

■ 生涯学習の取組状況について（活動内容別）

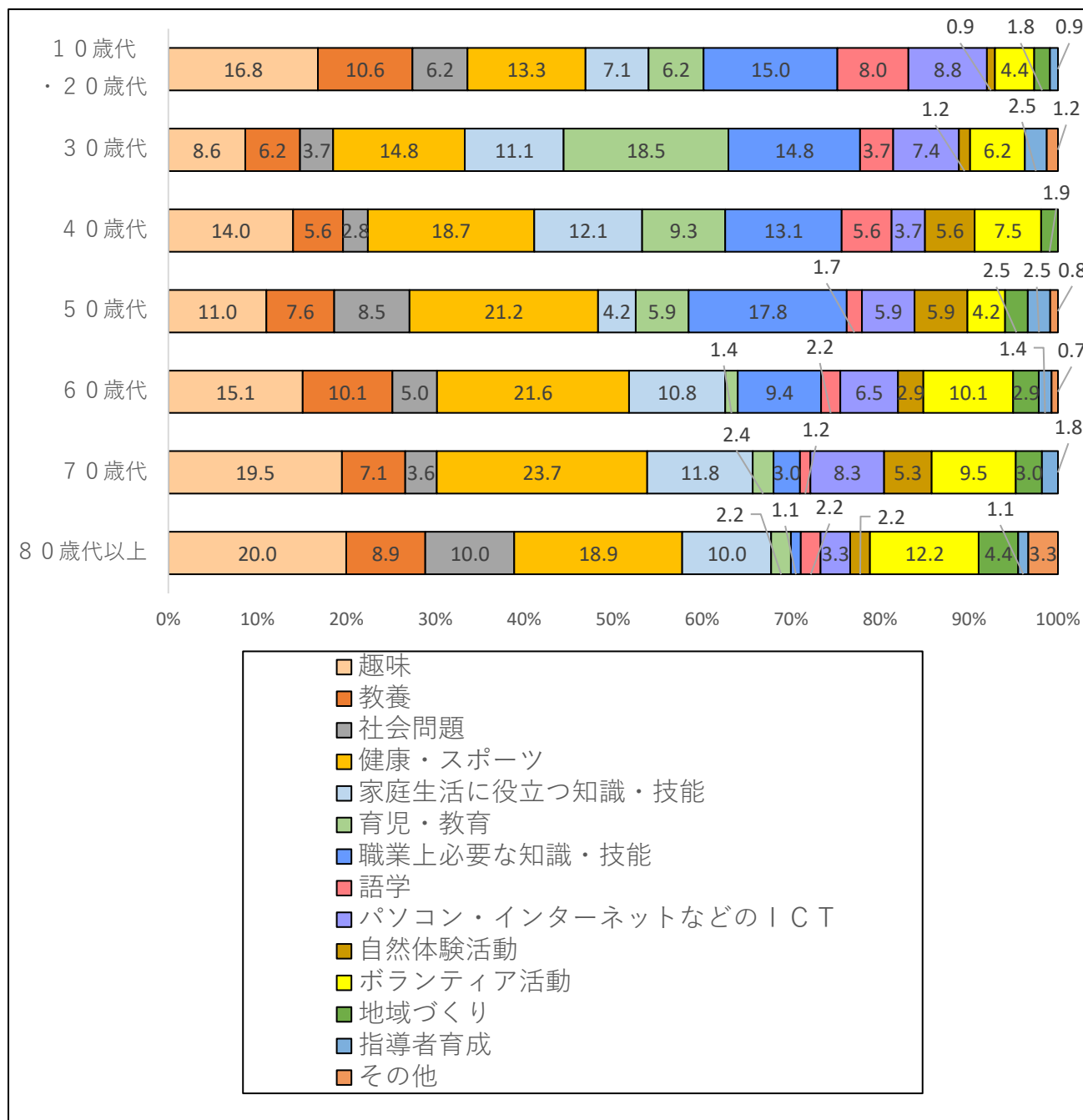
（複数回答可能で、割合は各項目の選択者数をnで除したもの）



活動内容については、「健康・スポーツ」、「趣味」、「職業上必要な知識・技能」、「家庭生活に役立つ知識・技能」が上位項目となっており、前回の調査結果と共通しています。

一方、前回調査と比較すると、「ボランティア活動」、「自然体験活動」の割合が低くなり、「教養」、「パソコン・インターネットなどの I C T」の割合が高くなっています。

■ 生涯学習の取組状況について（活動内容別・年代別）

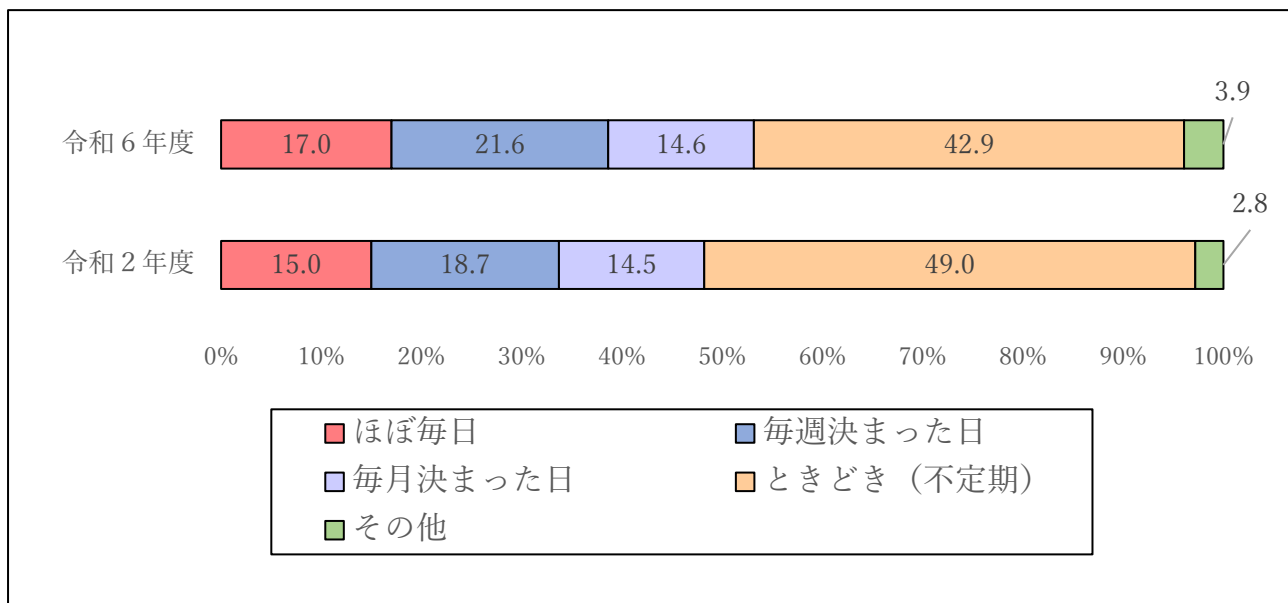


どの年代においても「趣味」、「健康・スポーツ」の割合が比較的高くなっています。

また、前回調査と比較して、30歳代、40歳代で「育児・教育」、50歳代で「職業上必要な知識・技能」の割合が高くなっています。

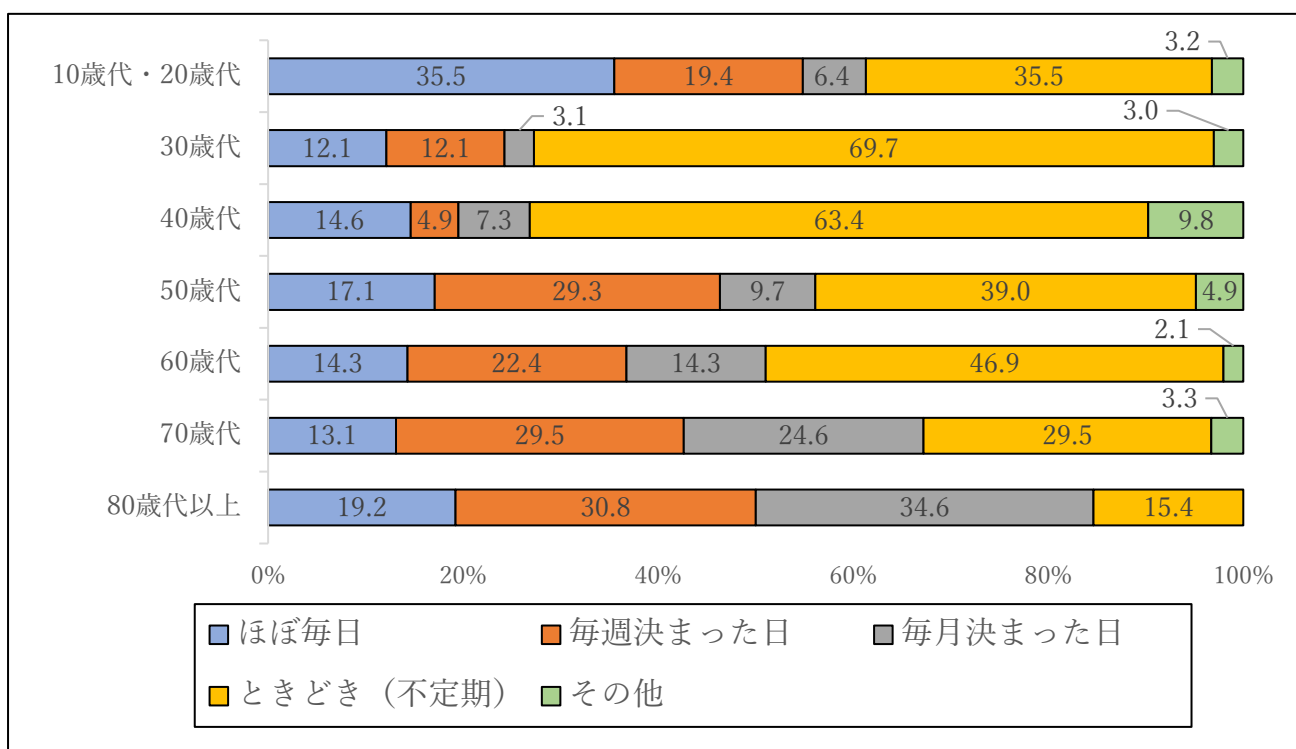
問3 あなたは、この1年間、どの程度学習活動を行われましたか。

■ 学習活動の頻度について



「ほぼ毎日」、「毎週決まった日」と回答した割合は、前回調査時より高くなっています。

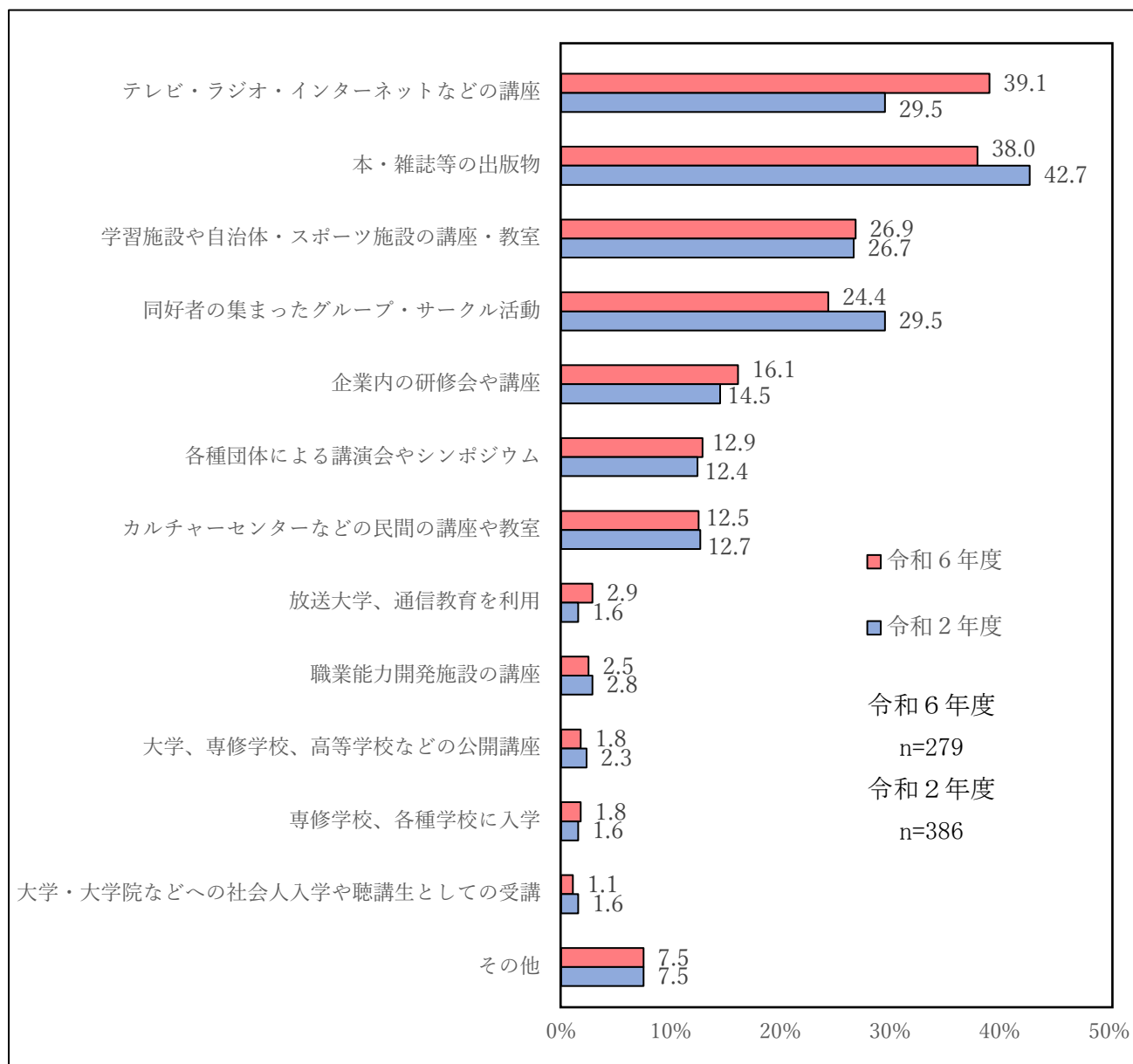
■ 学習活動の頻度について（年代別）



「ほぼ毎日」と回答した割合は10歳代・20歳代が最も高くなっています。一方で30歳代、40歳代の「ほぼ毎日」、「毎週決まった日」と回答した割合は他の年代より比較的低くなっています。

問4 あなたは、学習活動をどのような方法で行われましたか。
 (複数回答可能で、割合は各項目の選択者数をnで除したもの)

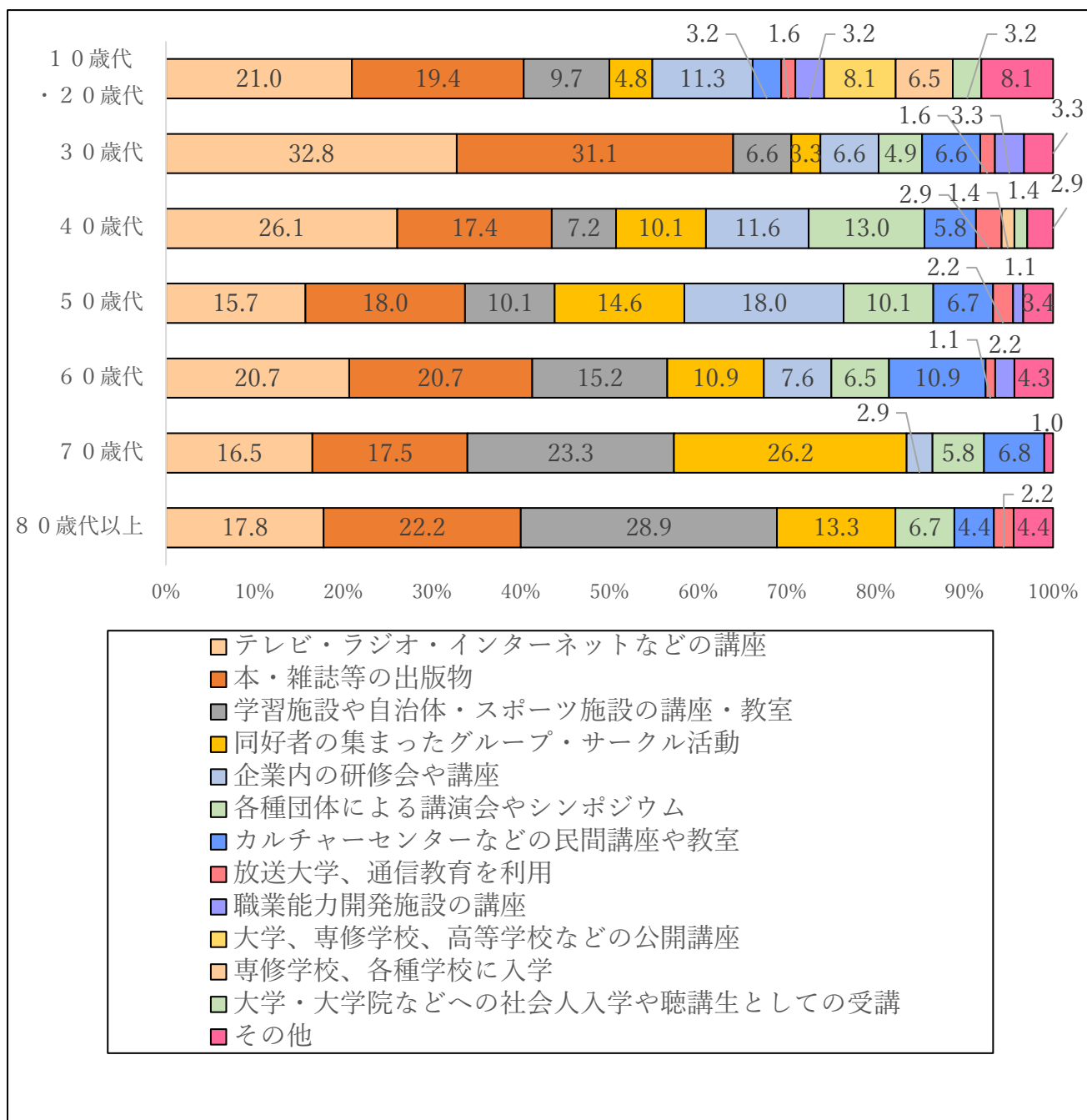
■ 学習活動の方法について



学習活動の方法は「テレビ・ラジオ・インターネットなどの講座」の割合が比較的高くなっています。

一方で、前回調査より「本・雑誌等の出版物」、「同好者の集まったグループ・サークル活動」の割合が低くなっています。

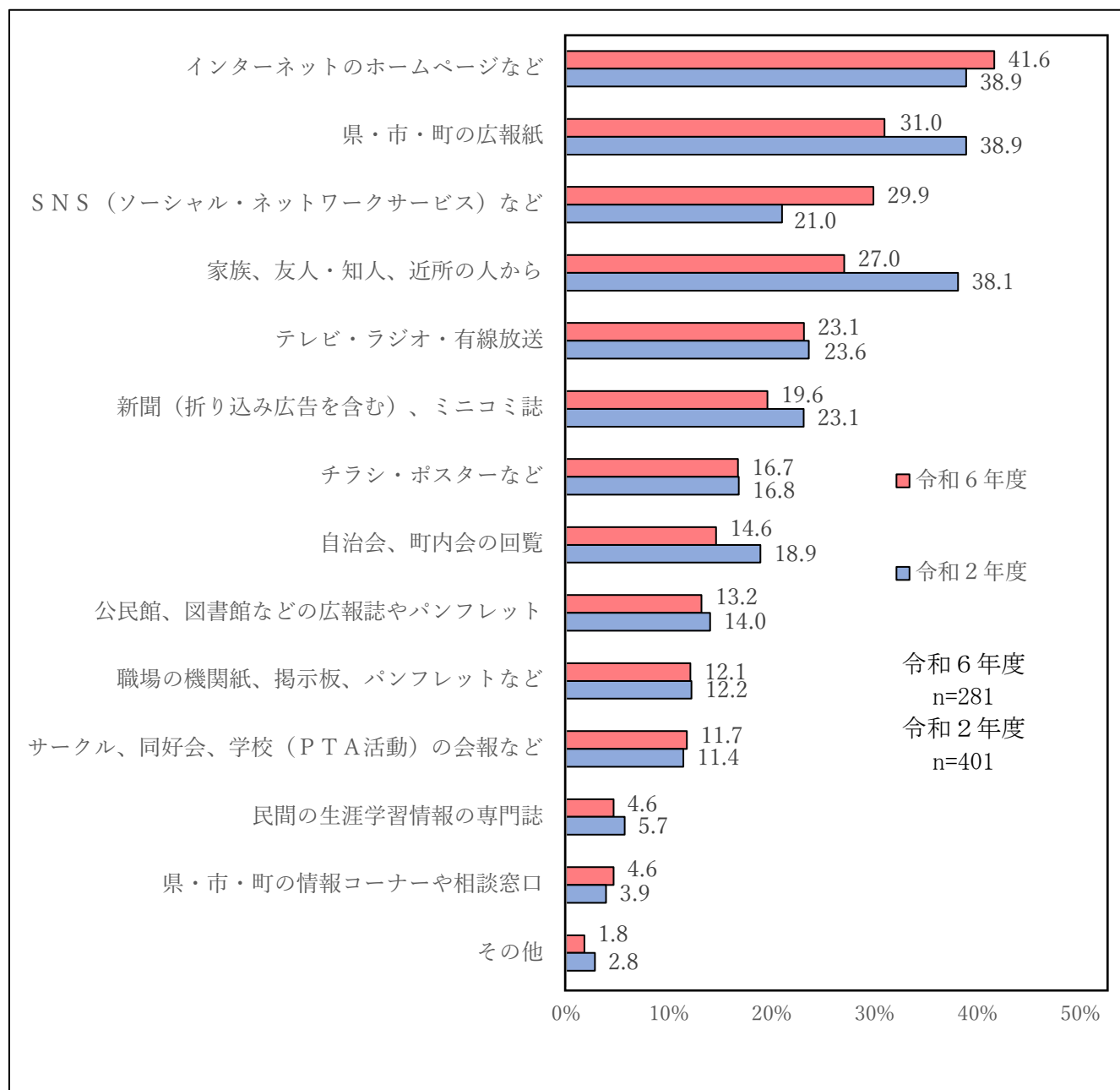
■ 学習活動の方法について（年代別）



どの年代でも「テレビ・ラジオ・インターネットなどの講座」、「本・雑誌等の出版物」が比較的高い割合になっています。

問5 あなたは、学習活動に関する情報をどのような方法で収集しておられますか。
 (複数回答可能で、割合は各項目の選択者数をnで除したもの)

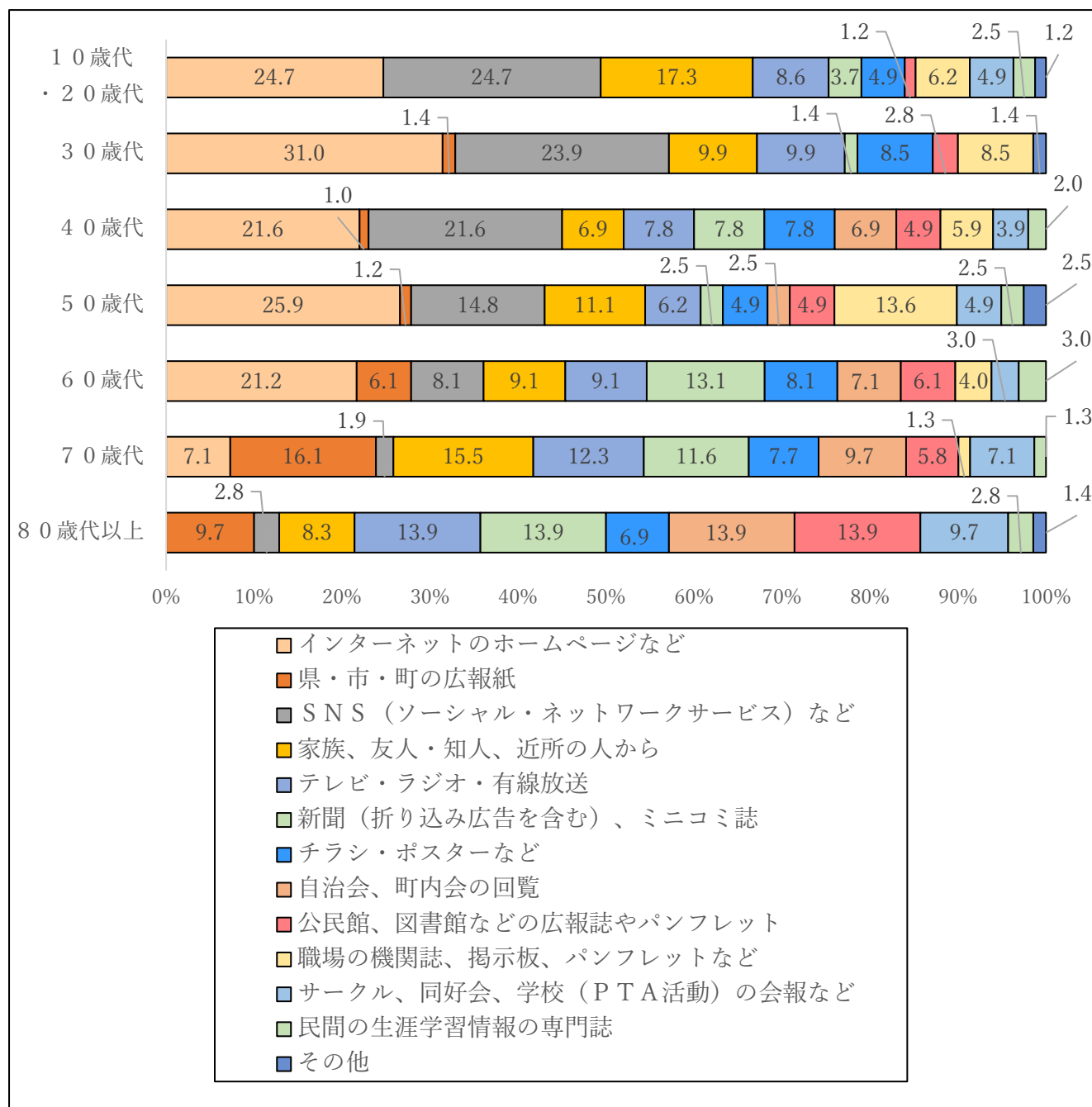
■ 生涯学習に関する情報の入手方法について



前回調査より、「インターネットなどのホームページ」、「SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) など」の割合が高くなっており、「県・市・町の広報紙」、「新聞 (折り込み広告を含む)、ミニコミ誌」の割合が低くなっています。

紙媒体よりも電子媒体で情報を入手する機会が増えていることがわかります。

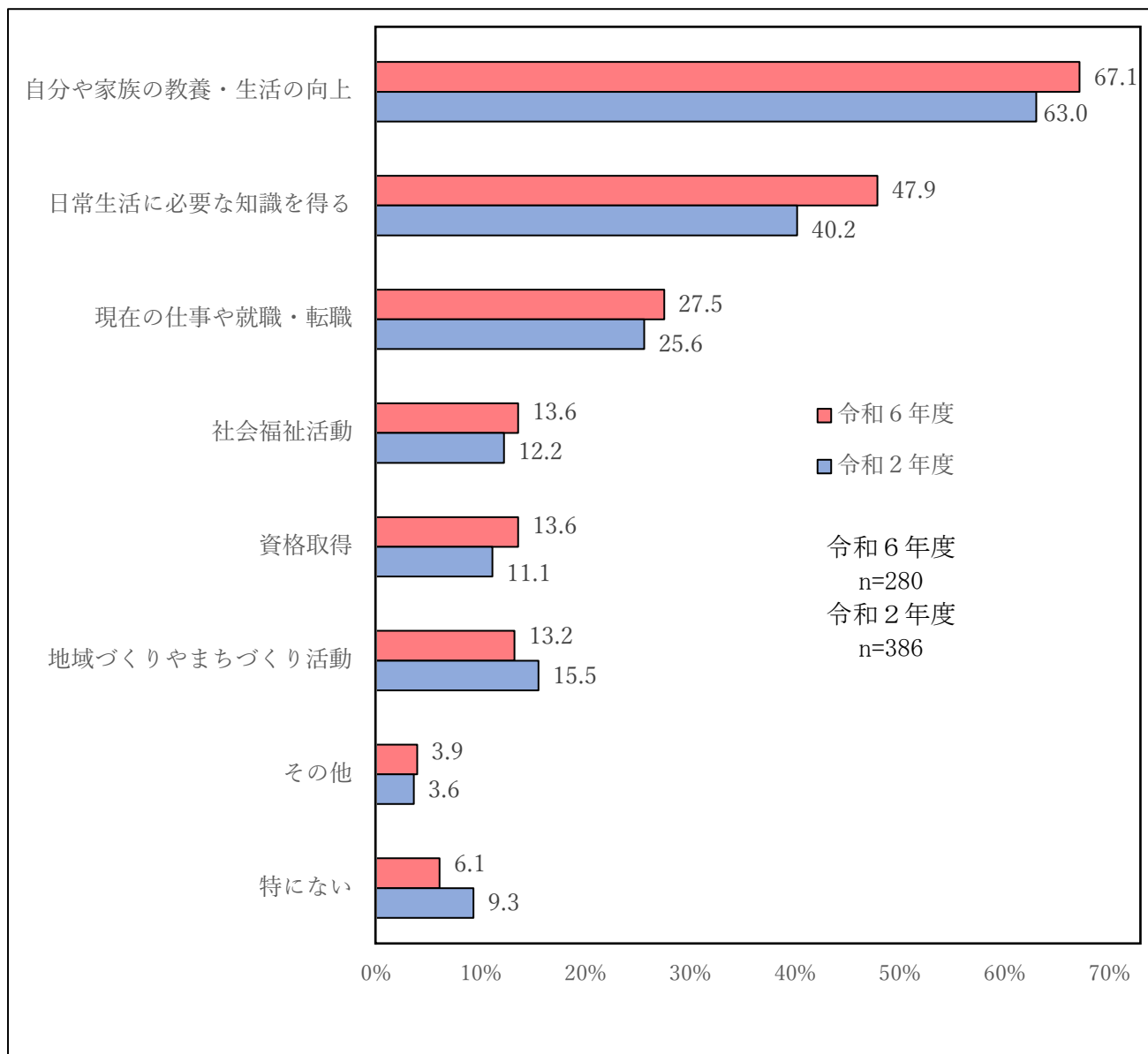
■ 生涯学習に関する情報の入手方法について（年代別）



年代別にみると、10歳代・20歳代、30歳代、40歳代では「インターネットなどのホームページ」、「SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）など」が占める割合がおよそ半数を占めています。60歳代以上になると「新聞（折り込み広告を含む）、ミニコミ誌」などの紙媒体の割合が高くなっており、対象年齢に応じた様々な情報媒体の活用が求められます。

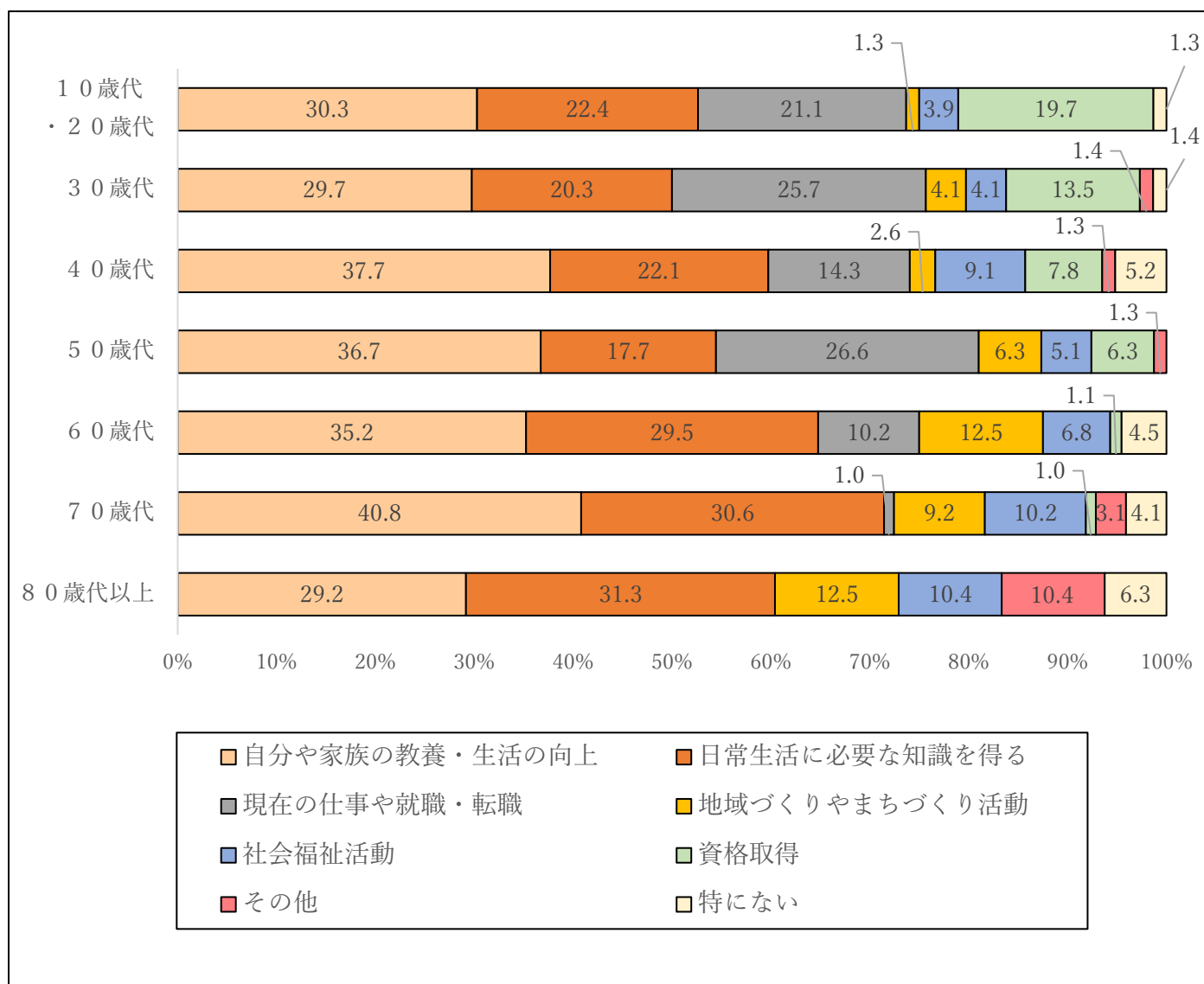
問6 あなたは、学習活動で学んだことを今後どのように生かしたいと思われますか。
 (複数回答可能で、割合は各項目の選択者数をnで除したもの)

■ 学習成果の活用について



学習活動で学んだ成果をどのように活用したいと思うかについては、前回の調査と同様「自分や家族の教養・生活の向上」、「日常生活に必要な知識を得る」、「現在の仕事や就職・転職」が上位3項目となっており、個人に関わるが多くなっています。

■ 学習成果の活用について（年代別）

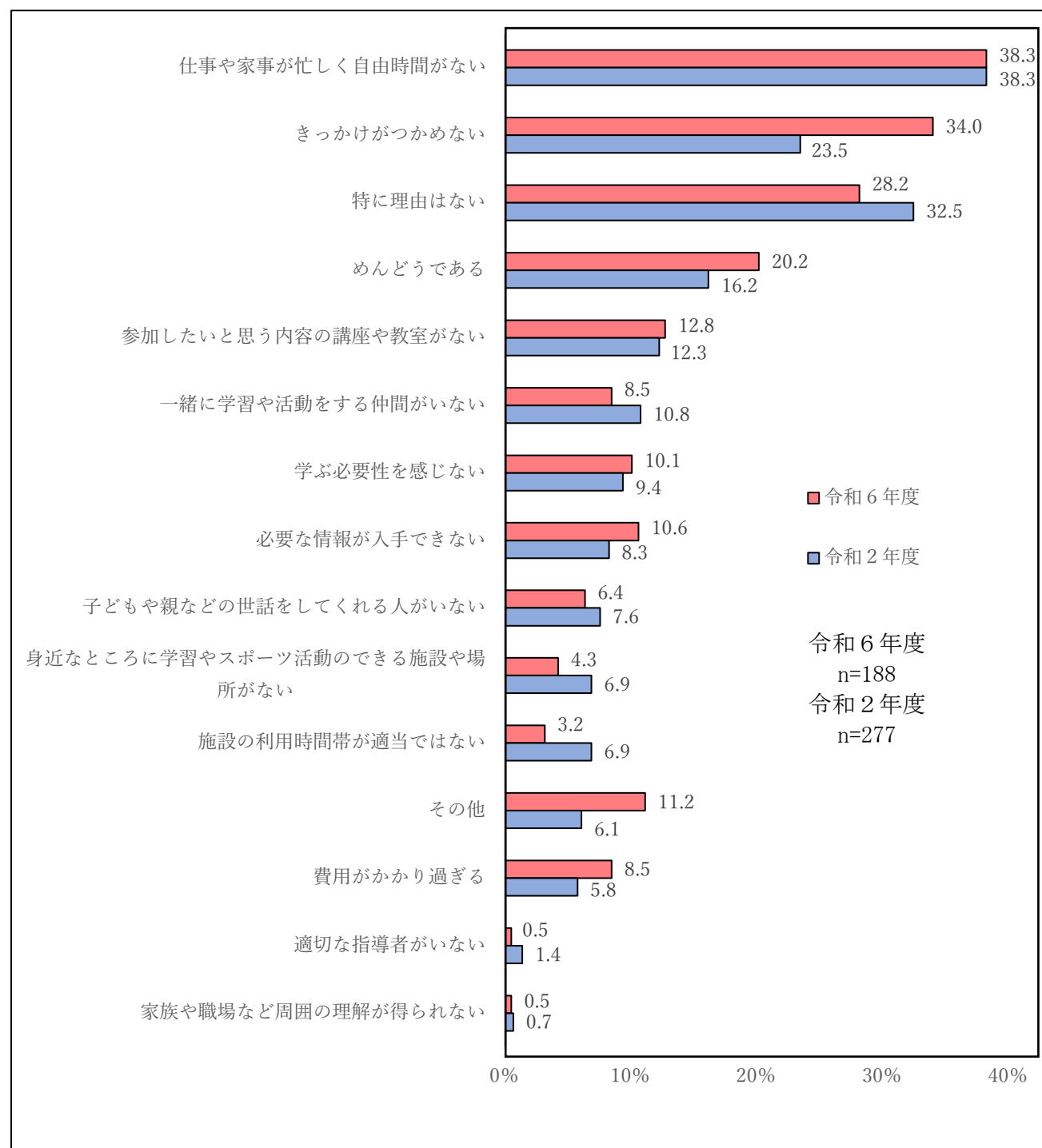


どの年代においても、「自分や家族の教養・生活の向上」、「日常生活に必要な知識を得る」が高い割合を占めています。

また、50歳代までは「現在の仕事や就職・転職」、「資格取得」が比較的高い割合となっています。

問7 あなたが、学習活動をしなかった理由はなんですか。
 (複数回答可能で、割合は各項目の選択者数をnで除したもの)

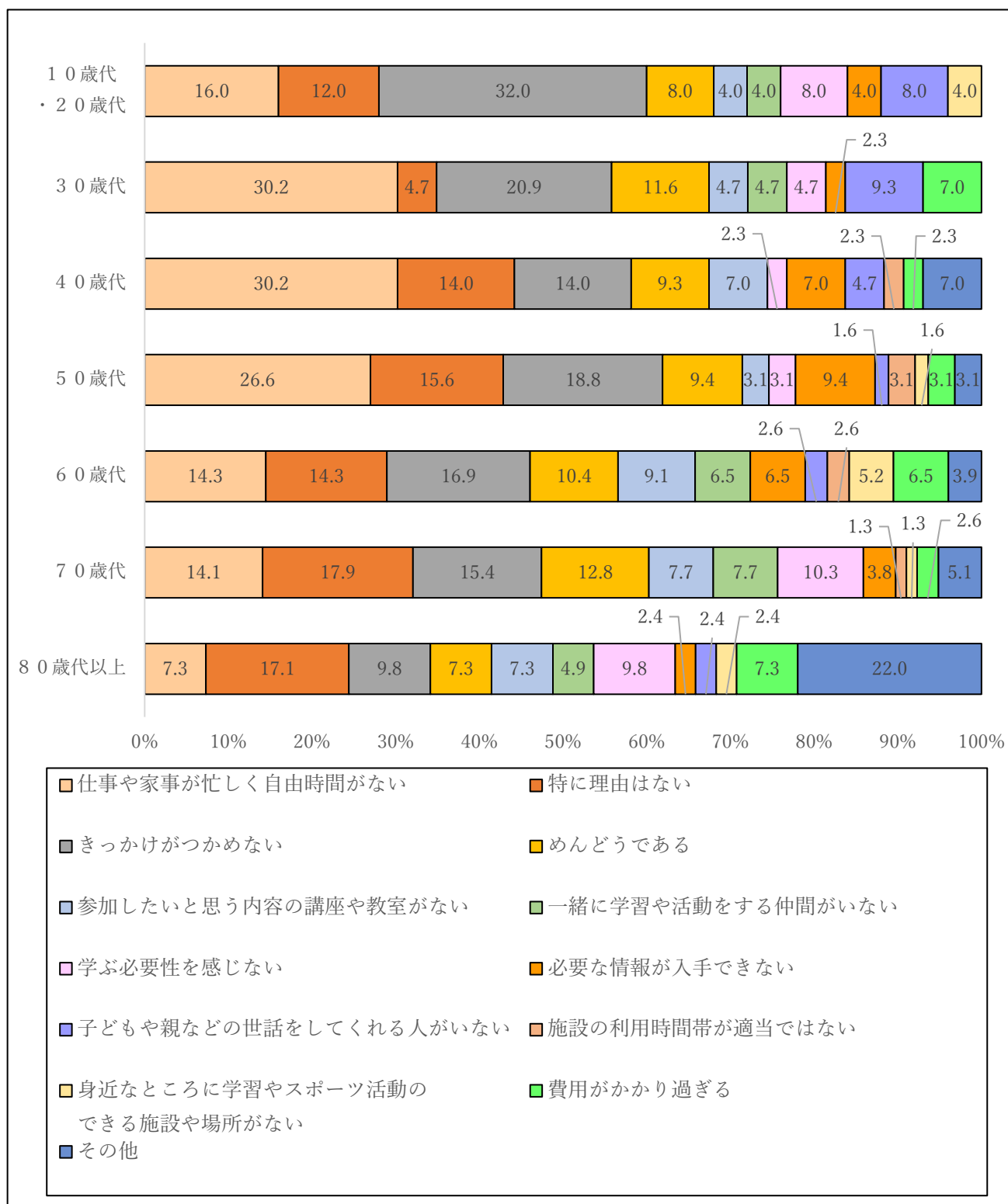
■ 生涯学習に特に取り組まなかった理由について



生涯学習を特にしていない理由については、前回調査と同様に「仕事や家事が忙しく自由時間がない」、「きっかけがつかめない」、「特に理由はない」が上位3項目となっています。

また、「一緒に学習や活動をする仲間がいない」との回答割合は低くなった一方で、「めんどうである」、「必要な情報が入手できない」との回答が多くなっています。

■ 生涯学習に特に取り組まなかった理由について（年代別）



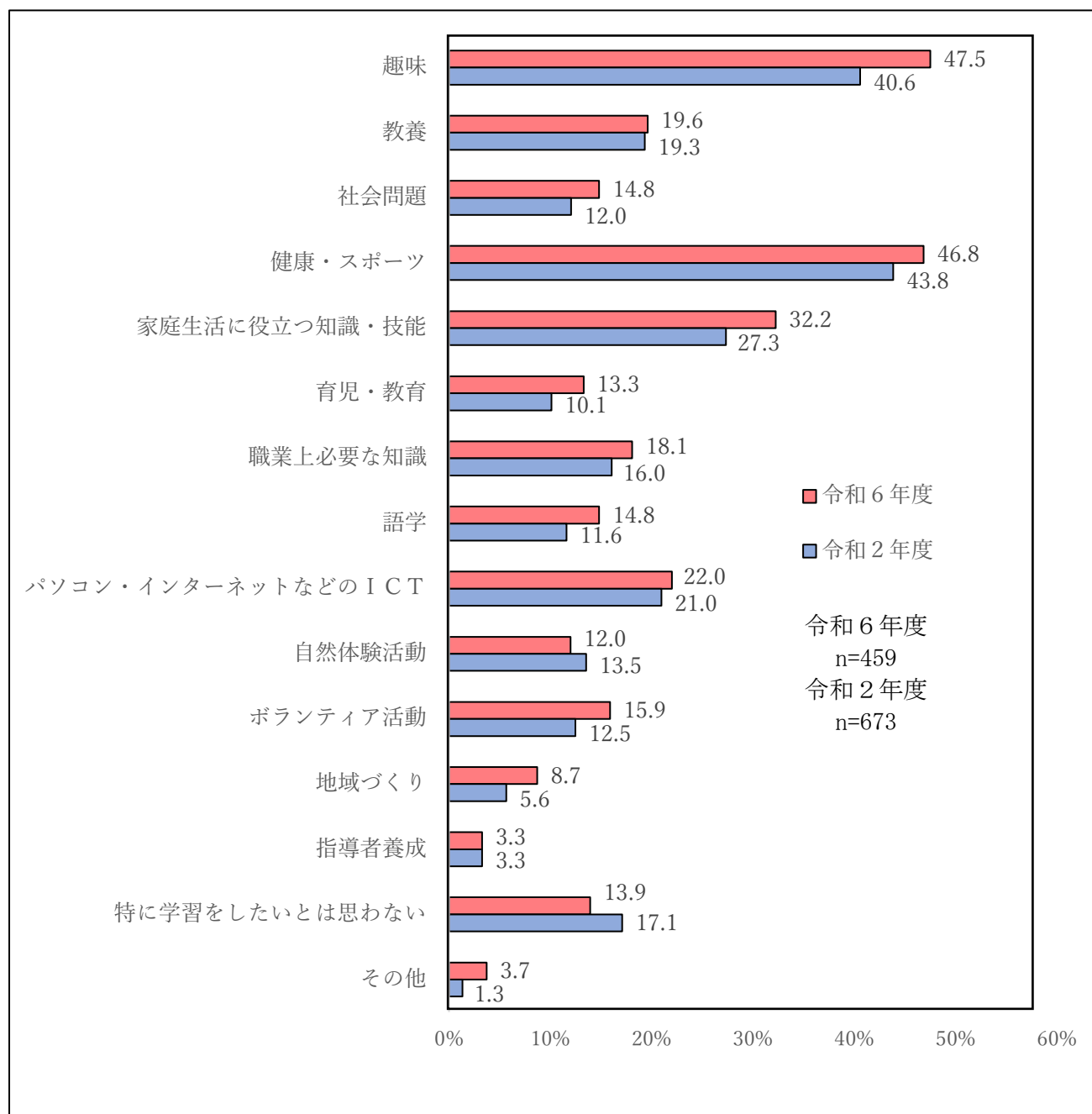
どの年代でも「仕事や家事が忙しく自由時間がない」、「特に理由はない」、「きっかけがつかめない」が比較的多く回答されており、学習活動を始める身近なきっかけの場の創出が重要と考えられます。

また、対象者のライフステージに応じた魅力ある学習機会の提供をすることで生涯学習のきっかけづくりを図っていくことが求められています。

問8 あなたは、今後どのような学習活動を行いたいと思いますか。

(複数回答可能で、割合は各項目の選択者数をnで除したもの)

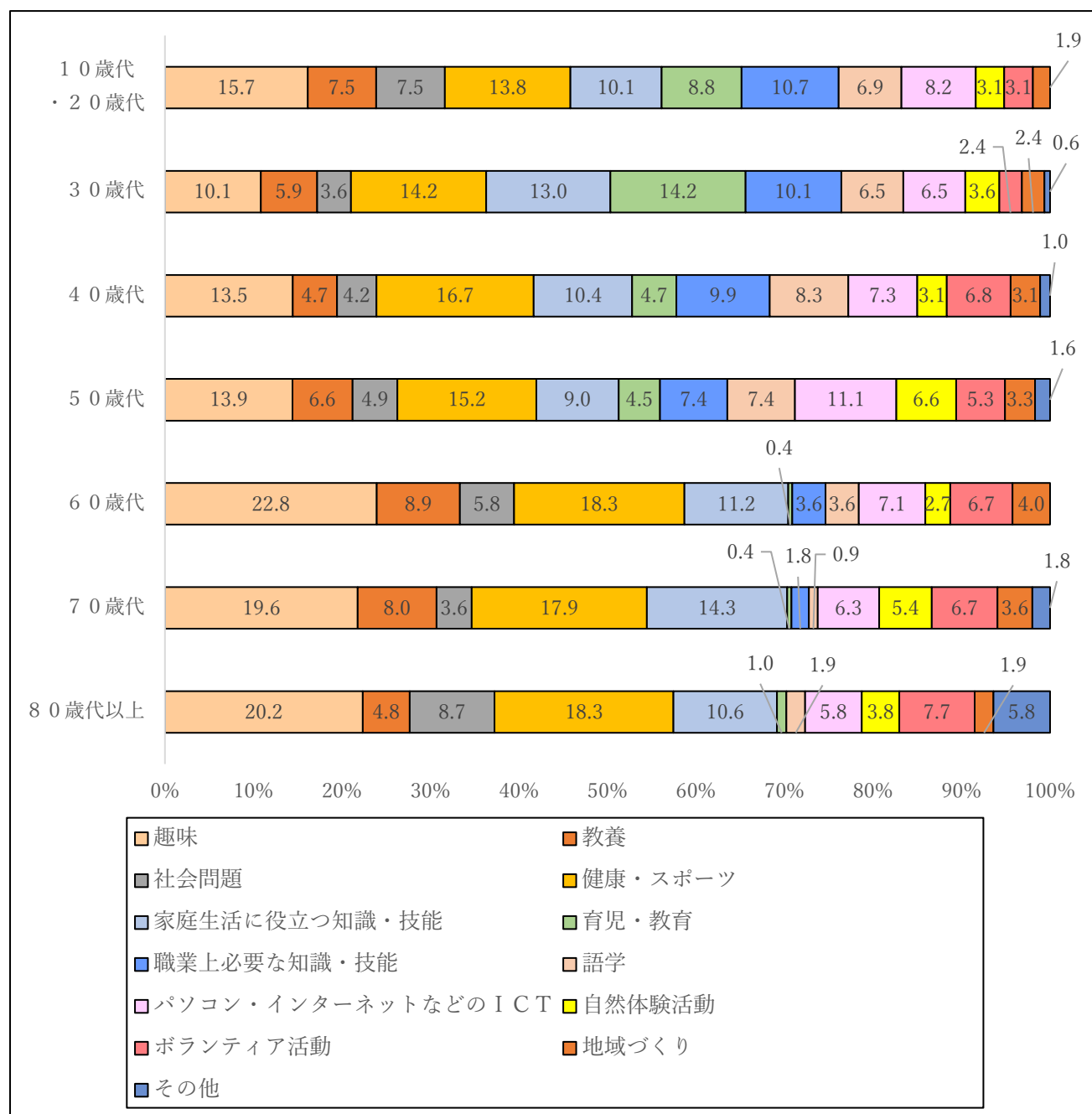
■ 今後の学習活動について



「趣味」、「健康・スポーツ」に関することが多く回答されています。

前回調査より「特に学習をしたいとは思わない」の割合は低くなっており、気軽に始められる学習機会の提供が求められています。

■ 今後の学習活動について（年代別）



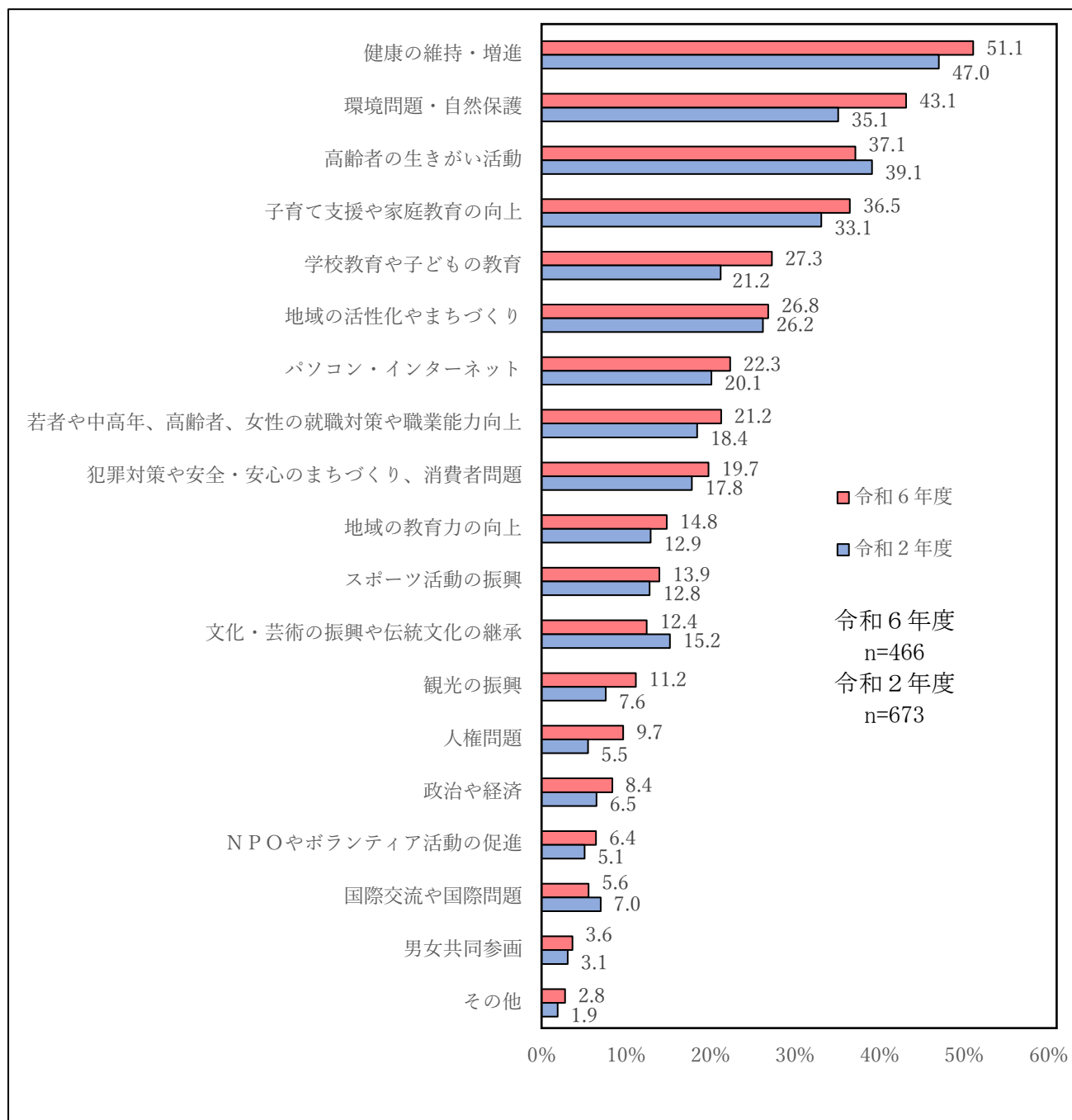
どの年代も「趣味」、「健康・スポーツ」に関することに関心が高いことがわかります。

40歳代までは、「職業上必要な知識」の割合が約10%であり、学習で得たことを活用したいことがうかがえます。

問9 あなたは、今後、人々が学習活動を進めていくにあたって、どのような分野の学習課題が大切だと思いますか。

(複数回答可能で、割合は各項目の選択者数をnで除したもの)

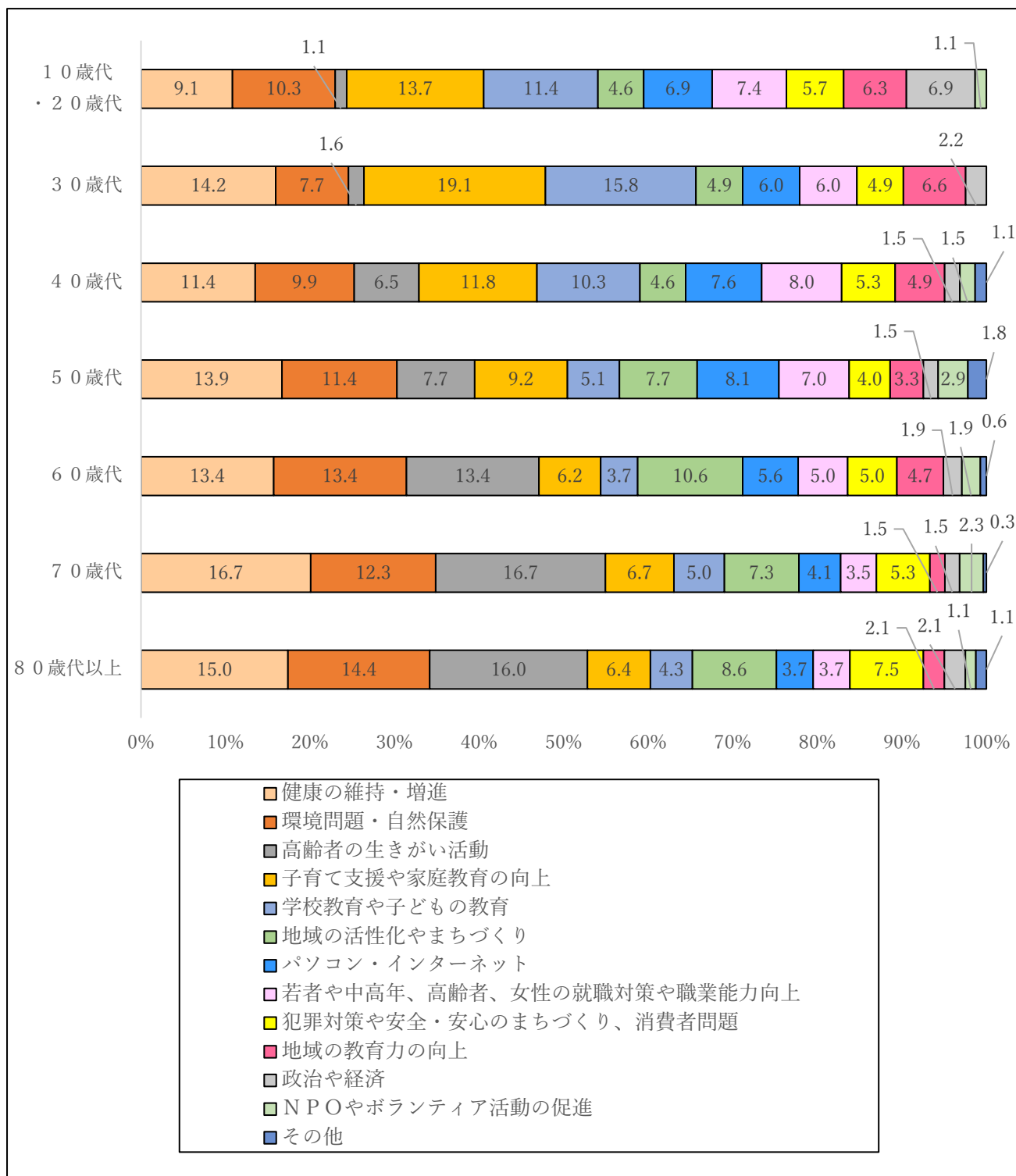
■ 学習課題の重要度について



学習課題の重要度については、「健康の維持・増進」、「環境問題・自然保護」、「高齢者の生きがい活動」、「子育て支援や家庭教育の向上」などが前回の調査結果と同様に上位となっています。

また、今回の調査では、「学校教育や子どもの教育」と回答した人の割合が高くなっており、子どもの教育への関心が高まっていることがうかがえます。

■ 学習課題の重要度について（年代別）



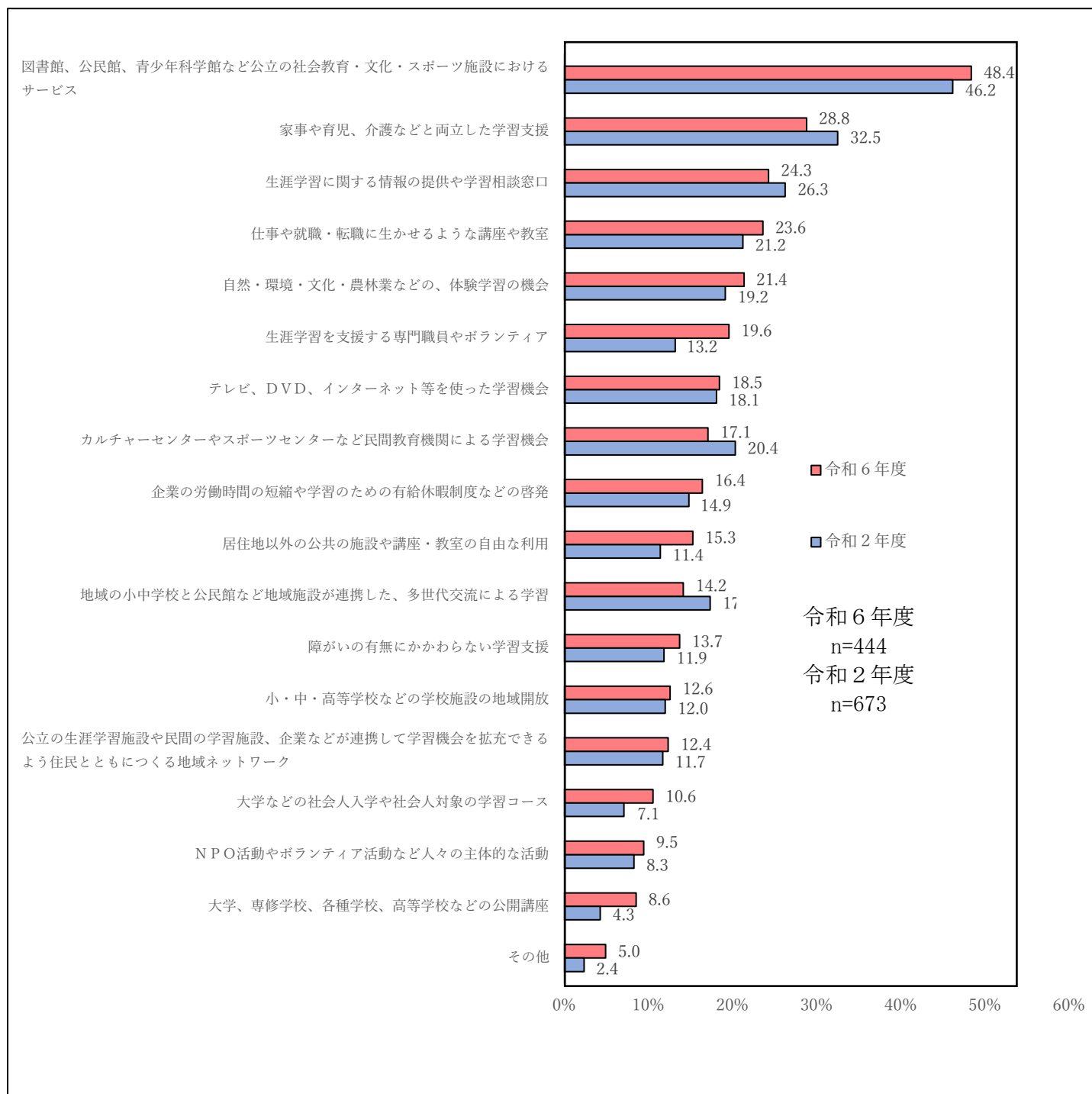
年代別に見ると、10歳代・20歳代から40歳代で「子育て支援や家庭教育の向上」、「学校教育や子どもの教育」、50歳代以上で「健康の維持・増進」、「高齢者の生きがい活動」の割合が高くなっています。

学習課題の重要度がライフステージに応じて異なることがうかがえます。

問 10 今後、防府市民が生涯学習活動をもっと盛んにしていくために、行政や教育機関はどのようなことを充実させるべきだと思いますか。

(複数回答可能で、割合は各項目の選択者数をnで除したもの)

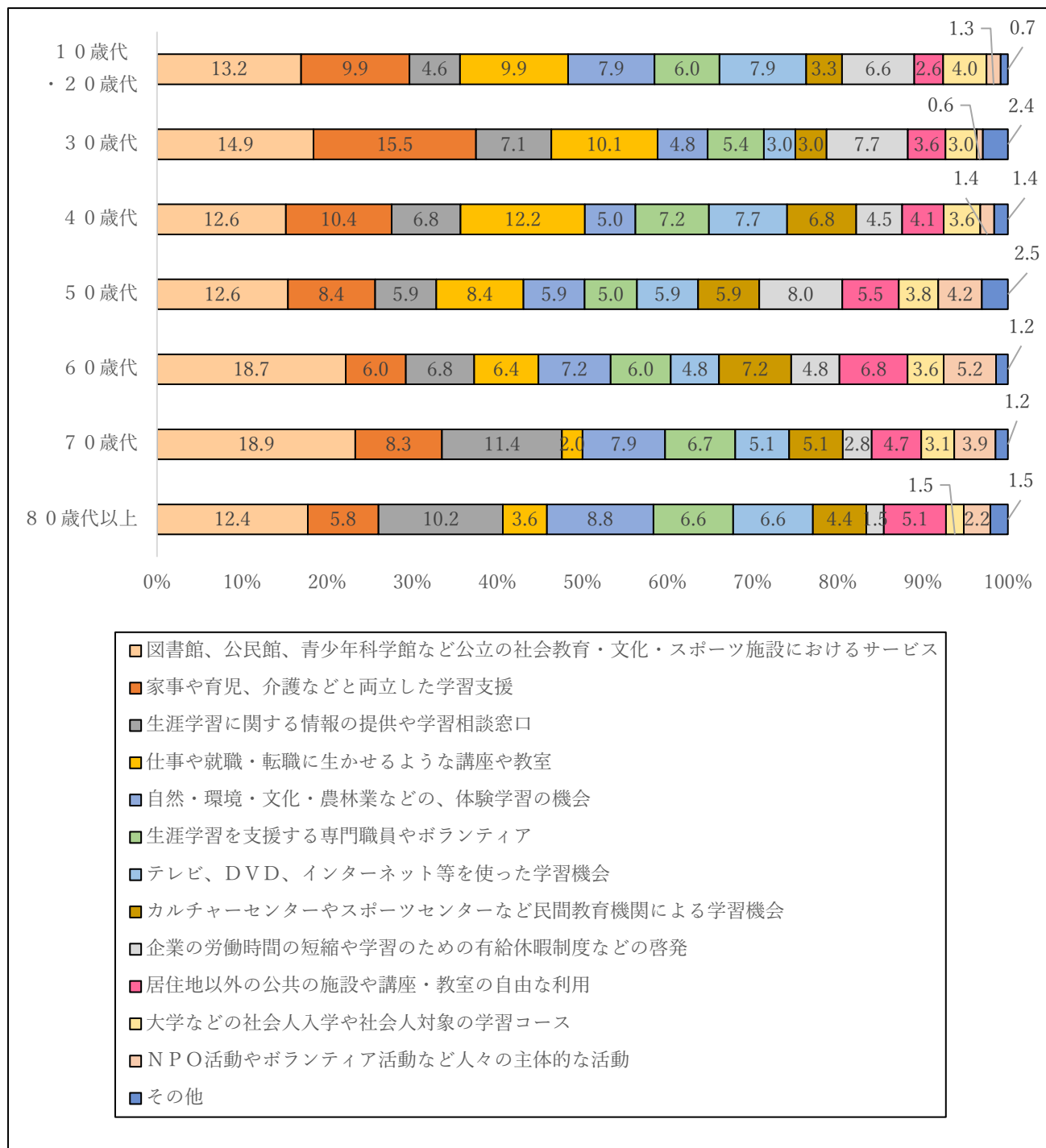
■ 生涯学習活動の充実について



「図書館、公民館、青少年科学館など公立の社会教育・文化・スポーツ施設におけるサービス」が最も高い割合でした。

施設を有効活用した生涯学習支援が求められています。

■ 生涯学習活動の充実について（年代別）



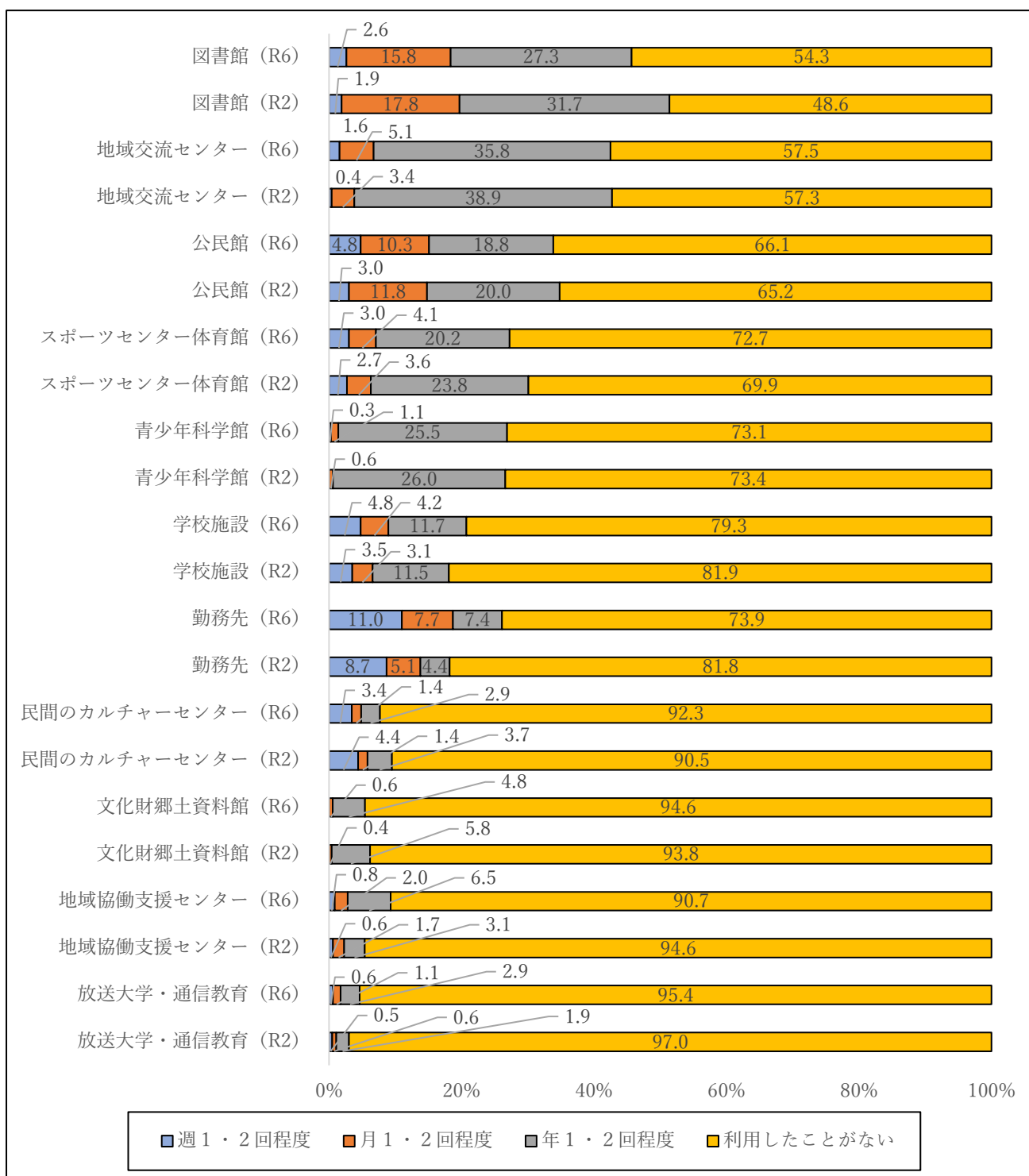
すべての年齢層で「図書館、公民館、青少年科学館などの効率的な社会教育・文化・スポーツ施設におけるサービス」の割合が比較的高くなっています。

また、30歳代では「家事や育児、介護などと両立した学習支援」の回答が多く、70歳代以降から「生涯学習に関する情報の提供や学習相談窓口」の回答が多くなっています。

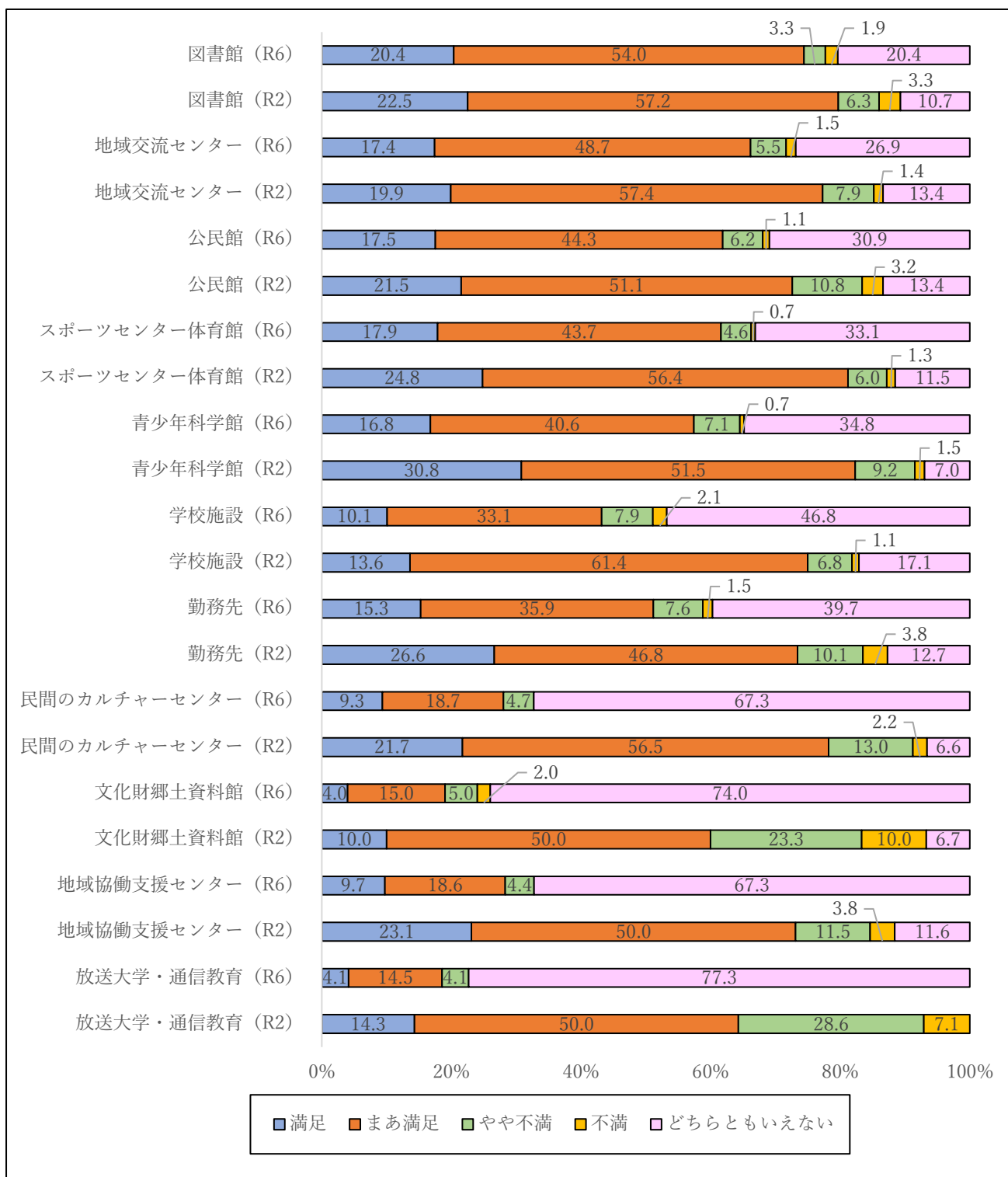
青少年、子育て世代、高齢者等のニーズに対応した的確な学習サービスの提供が求められます。

問 1 1 あなたは、この一年間、生涯学習活動に以下の施設等をどの程度利用しましたか。
また、施設についての利用回数と満足度について教えてください。

■ 学習施設の利用回数について



■ 学習施設の満足度について

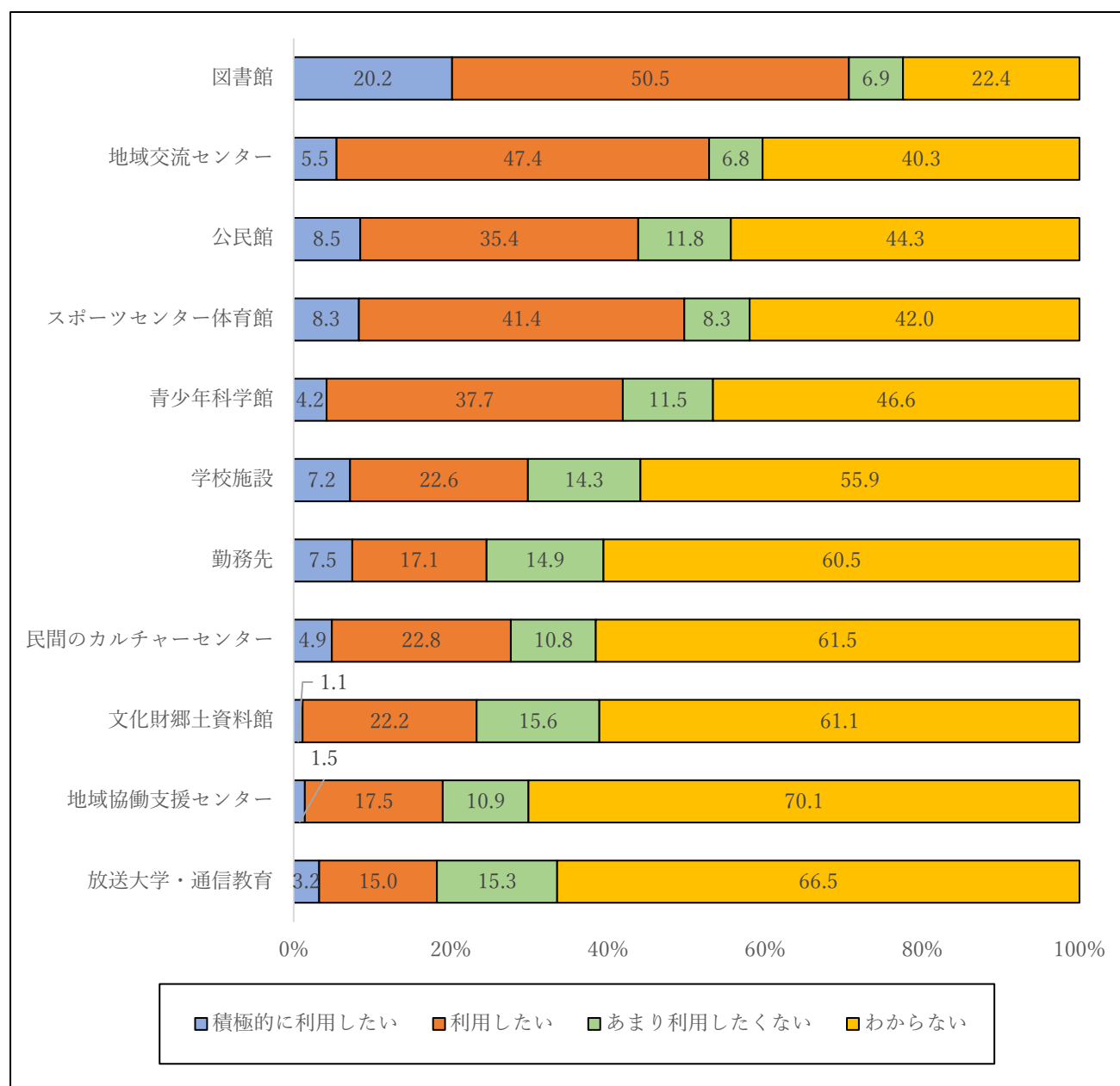


利用回数はどの施設も前回調査とあまり変化がありません。

しかし、満足度は低下傾向にある結果となっています。

問 1 2 あなたが下記の施設等で今後生涯学習活動をするための利用について、教えてください。

■ 学習施設の今後の利用について



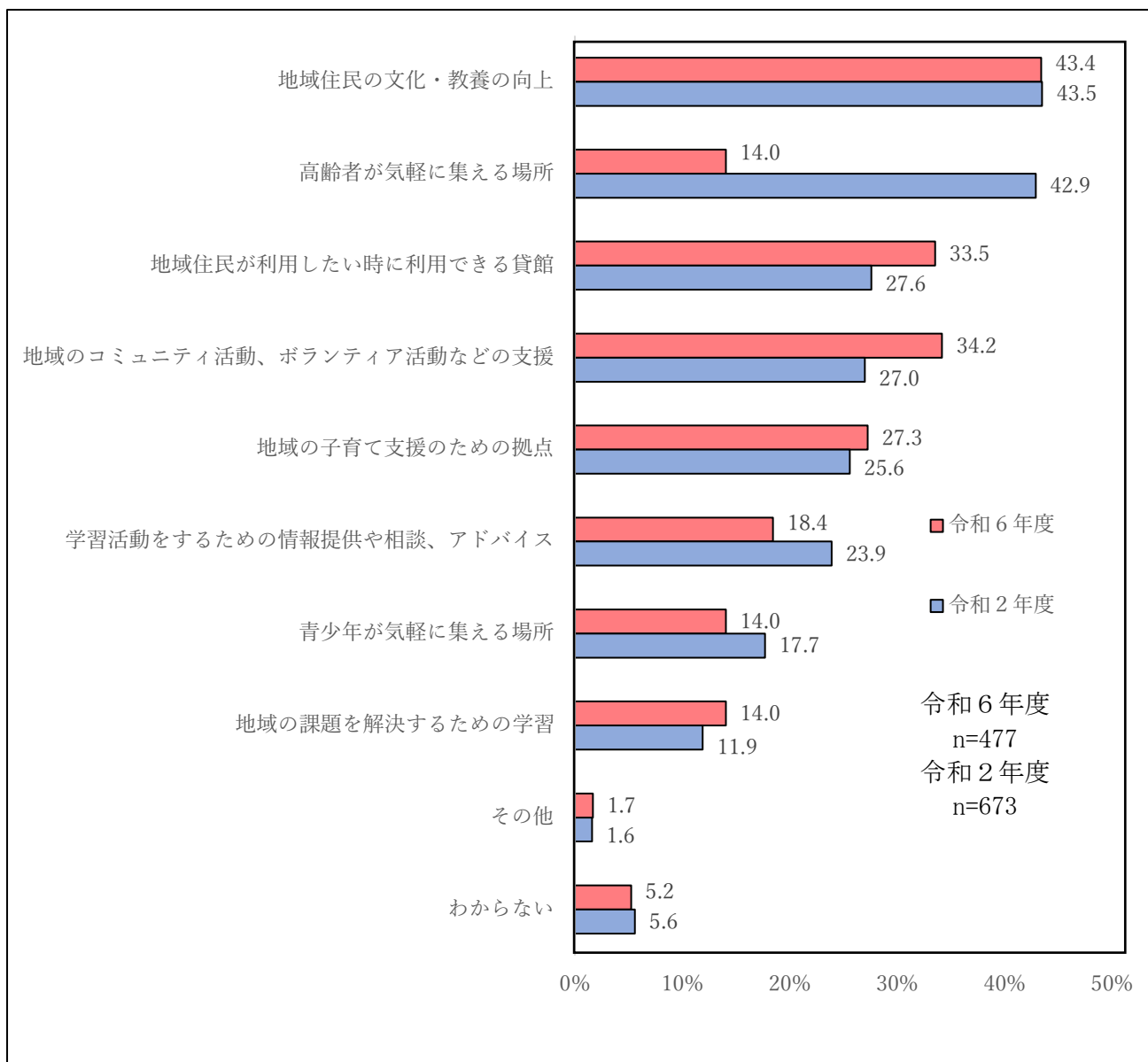
図書館、地域交流センターなどの利用者数が多い施設は、「積極的に利用したい」、「利用したい」と回答した割合が比較的高くなっています。

一方で利用者数が少ない施設は、「わからない」との回答が約半数を占めており、施設の積極的な活用が求められます。

問 1 3 あなたは、公民館等が、どんな目的をもった施設であることを期待しますか。

(複数回答可能で、割合は各項目の選択者数をnで除したもの)

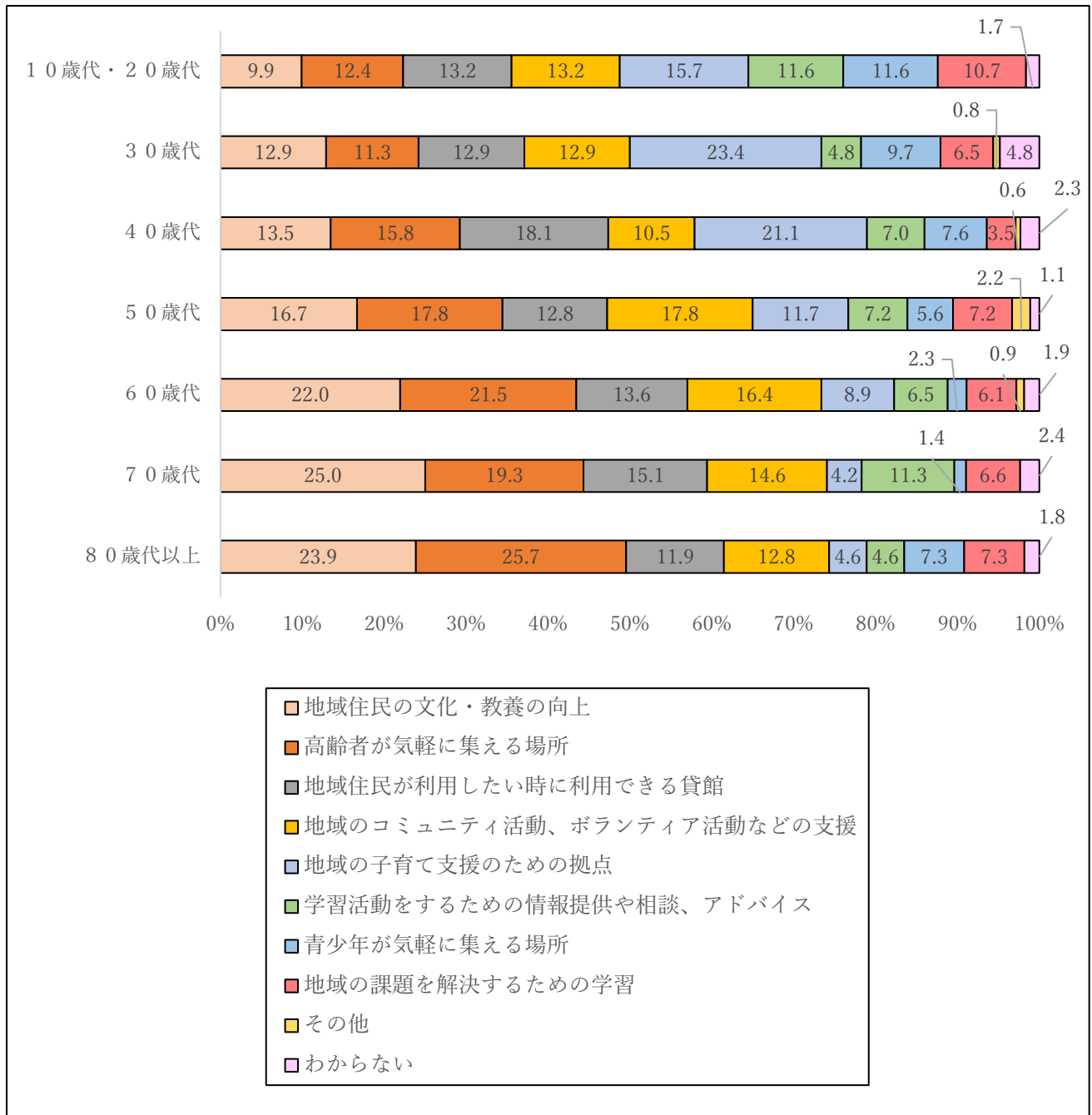
■ 公民館等への期待について



公民館への期待については、「地域住民の文化・教養の向上」、「地域住民が利用したい時に利用できる貸館」の割合が高くなっています。

また、前回調査より、「地域のコミュニティ活動、ボランティア活動などを支援するための施設」、「地域の子育て支援のための拠点施設」と回答した人の割合が増えています。

■ 公民館等への期待について（年代別）



年代別で比較すると、どの年代でも「地域住民の文化・教養の向上」の割合が比較的高くなっています。

30歳代、40歳代では、「地域の子育て支援のための拠点」の回答が多く、60歳代以上では、「高齢者が気軽に集える場所」の回答が多くなっています。

青少年、子育て世代、高齢者等のニーズに応じた的確な学習サービスの提供が求められます。